

6. ≪保育児童学科≫【保育・幼児教育コース】（保育士資格＋幼稚園教諭一種免許状モデル）

区分	1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	備考
総合教育科目	基礎教育 科目	保育児童学概論 人権教育 ▲▼	2 2	保育児童基礎演習☆	2				3科目 6単位必修
	健康教育 科目	健康・スポーツ☆*	2						1科目 2単位必修
	コミュニケーション 科目	アメリカの文化と言語Ⅰ☆☆ 情報処理演習Ⅰ☆☆	2 4						2科目 6単位必修
	教養教育科目	社会福祉入門☆□ 文章表現☆ 法学（憲法）☆☆ 福祉と教育 教養基礎演習Ⅰ	2 2 2 2 2						5科目 10単位必修
	キャリア開発 教育科目	保育キャリア基礎演習☆	2	保育キャリア応用演習☆	4	保育キャリア展開演習☆	4	保育キャリア実践演習☆	4 4科目 14単位必修
小計	24 単位		6 単位		4 単位		4 単位		38単位
専門教育科目	専門基礎 科目	児童・家庭福祉論□☆☆ 教育学概論☆△▽	2 2	社会福祉☆ 教育心理学△▽	2 2				4科目 8単位必修
	専門科目Ⅰ	保育者論☆△ 保育の心理学☆	2 2	保育原理☆ 社会的養護Ⅰ☆ 保育の心理学Ⅱ☆ 子どもの保健☆ 子どもの健康と安全☆ 乳児保育Ⅰ☆ 障害児療育☆▲▼	2 2 2 2 2 2 2	子ども家庭支援論☆ 子ども家庭支援の心理学☆ 子どもの食と栄養☆○ 児童・家庭福祉論Ⅱ☆ 臨床心理学☆○	2 2 2 2 2		14科目 28単位必修
	専門科目Ⅱ	保育内容（表現）☆△ 保育内容（健康）☆△ 図画工作Ⅰ☆▽ 音楽実践演習 子どもと音楽☆△	2 2 2 2 2	社会的養護Ⅱ☆ 保育内容（言葉）☆△ 保育内容総論☆△ 音楽実践演習Ⅱ 子どもと健康☆△ 子どもと造形☆△	2 2 2 2 2 2	保育内容（人間関係）☆△ 保育内容（環境）☆△ 保育児童専門演習☆ 保育内容総論Ⅱ☆△	2 2 2 2		14科目28単位 必修を含む 20科目 40単位修得
	専門展開科目		保育実習指導Ⅰ☆ 保育実習Ⅰ（保育所）☆	2 2	保育実習Ⅰ（施設）☆ 教育相談（カウンセリングを含む）△▽ 子どもと人間関係△ 子どもと環境△	2 2 2 2	保育実習指導Ⅱ☆注4 保育実習Ⅱ（保育所）☆注4 保育実践演習☆	2 2 2	10科目 20単位修得
	資格科目	初等 教職 幼稚園	教育法規△▽ 特別ニーズ教育論△▽※	2 2		教職実践演習（幼稚園）△	2		6科目 11単位修得
修得単位	44 単位		52 単位		31 単位		18 単位		145単位

注1) 単位数を□で囲まれた科目は、指定された年次に履修すること。

注2) **ゴシック体**で記載された科目は、必修科目。

注3) ☆（保育士資格 ☆必修 ★選択必修）、▽（小学校教諭教諭 ▽必修 ▼選択）、●（特別支援学校教諭 必修）、○（養護教諭教諭 ○必修 ◎選択）、◆（社会教育主事資格 ◆必修 ※選択）□（社会福祉士受験資格 必修）、*（教職課程共通 *必修 ※選択）、△（幼稚園教諭 △必修、▲選択）、の印が付された科目は、資格・免許状取得に関する科目。詳細は、「Ⅶ. 資格取得の方法について」を参照すること。

注4) 保育士資格取得のためには、保育実習Ⅱ・Ⅲのいずれか、ならびに保育実習指導Ⅱ・Ⅲのいずれかを選択必修のこと。

7. ≪保育児童学科≫【保育・初等教育コース】（保育士資格＋幼稚園教諭一種免許状＋小学校教諭一種免許状モデル）

区分		1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	備考
総合教育科目	基礎教育 育科目	保育児童学概論 人権教育 ▲▼	2 2	保育児童基礎演習☆	2					3科目 6単位必修
	健康教育 育科目	健康・スポーツ☆*	2							1科目 2単位必修
	コミュニケーション 目	アメリカの文化と言語Ⅰ☆☆ 情報処理演習Ⅰ☆☆	2 4							2科目 6単位必修
	教養教育科目	社会福祉入門☆□ 文章表現☆ 法学（憲法）☆☆ 福祉と教育 教養基礎演習Ⅰ	2 2 2 2 2							5科目 10単位必修
	キャリア開発 教育科目	保育キャリア基礎演習☆ 教員基礎演習Ⅰ▽●○	2 2	保育キャリア応用演習☆ 教員基礎演習Ⅱ▽●○	4 4	保育キャリア展開演習☆ 教員開発演習Ⅰ▽●○	4 4	保育キャリア実践演習☆ 教員開発演習Ⅱ▽●○	4 4	4科目14単位 必修を含む 8科目28単位 修得
	小計	26 単位		10 単位		8 単位		8 単位		52単位
専門教育科目	専門基礎 科目	児童・家庭福祉論□☆☆※ 教育学概論☆△▽	2 2	社会福祉☆ 教育心理学△▽	2 2					4科目 8単位必修
	専門科目Ⅰ	保育者論☆△ 保育の心理学☆	2 2	保育原理☆ 社会的養護Ⅰ☆ 保育の心理学Ⅱ☆ 子どもの保健☆ 子どもの健康と安全☆ 乳児保育Ⅰ☆ 障害児療育☆▲▼	2 2 2 2 2 2 2	子ども家庭支援論☆ 子ども家庭支援の心理学☆ 子どもの食と栄養☆○ 児童・家庭福祉論Ⅱ☆ 臨床心理学☆○	2 2 2 2 2		14科目 28単位必修	
	専門科目Ⅱ	保育内容（表現）☆△ 保育内容（健康）☆△ 図画工作Ⅰ☆▽ 音楽実践演習 子どもと音楽☆△ 音楽★▽	2 2 2 2 2 2	保育内容（言葉）☆△ 保育内容総論☆△ 音楽実践演習Ⅱ 子どもと健康☆△ 子どもと環境☆△	2 2 2 2 2	保育内容（人間関係）☆△ 保育内容（環境）☆△ 社会的養護Ⅱ☆ 体育▽ 体育科指導法▽ 音楽科指導法▽ 図画工作科指導法▽	2 2 2 2 2 2 2	保育児童専門演習☆ 保育内容総論Ⅱ☆△ 子育て支援☆ 幼児理解☆△ 保育カリキュラム論☆△ 乳児保育Ⅱ☆	2 2 2 2 2 2	14科目28単位 必修を含む 25科目 50単位修得
	専門展開科目		保育実習指導Ⅰ☆ 保育実習Ⅰ（保育所）☆	2 2	保育実習Ⅰ（施設）☆	2	保育実習指導Ⅱ☆注4) 保育実習Ⅱ（保育所）☆注4) 保育実践演習☆	2 2 2		19科目 38単位修得
		子どもと言葉△ 国語（書写を含む）▽ 算数▽ 児童生徒指導論（進路指導を含む）▽ 総合的な学習の時間の指導法▽	2 2 2 2 2	子どもと人間関係△ 子どもと環境△ 国語科指導法（書写を含む）▽ 算数科指導法▽ 児童生徒指導論（進路指導を含む）▽ 総合的な学習の時間の指導法▽	2 2 2 2 2 2	教育相談（カウンセリングを含む）△▽ 生活▽ 道徳の指導法▽ 生活科指導法▽ 教育実習指導（初等）Ⅰ△ 教育実習指導（初等）Ⅱ▽ 教育実習（初等）Ⅰ△▽	2 2 2 2 1 1 2		4科目 6単位修得	
資格科目	初等教職	教師論▽ 教育課程論▽	2 2	教育法規△▽ 特別活動の指導法▽ 特別ニーズ教育論△▽※	2 2 2		教職実践演習（幼稚園）△ 教職実践演習（小学校）▽	2 2	7科目 14単位修得	
	幼稚園					教育実習指導（初等）Ⅰ△ 教育実習指導（初等）Ⅱ▽ 教育実習（初等）Ⅰ△▽	1 1 2	教育実習（初等）Ⅱ△▽	2	4科目 6単位修得
	小学校	外国語▽	2	外国語の指導法▽	2	社会▽ 理科▽ 家庭▽ 社会科指導法▽ 理科指導法▽ 家庭科指導法▽	2 2 2 2 2 2		8科目 16単位 修得	
修得単位		58 単位		64 単位		58 単位		32 単位		212単位

注1) 単位数を□で囲まれた科目は、指定された年次に履修すること。

注2) ゴシック体で記載された科目は、必修科目。

注3) ☆（保育士資格 ☆必修）、□（社会福祉士受験資格 必修）、*（教職課程共通 *必修 ※選択）、△（幼稚園教諭 △必修 ▲選択）、▽（小学校教諭 ▽必修 ▼選択）、●（特別支援学校教諭 必修）、○（養護教諭教諭 ○必修 ◎選択）、◆（社会教育主事資格 ◆必修 ※選択）、の印が付けられた科目は、資格・免許状取得に関する科目。詳細は、「Ⅶ. 資格取得の方法について」を参照すること。

注4) 保育士資格取得のためには、保育実習Ⅱ・Ⅲのいずれか、ならびに保育実習指導Ⅱ・Ⅲのいずれかを選択必修のこと。

8. <<保育児童学科>>【子ども福祉コース】（保育士資格＋社会福祉士受験資格 モデル）

区分		1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	備考	
総合教育科目	基礎教育科目	保育児童学概論	2	保育児童基礎演習☆	2					3科目 6単位必修	
		人権教育▲▼	2								
	健康教育科目	健康・スポーツ☆*	2								1科目 2単位必修
	コミュニケーション科目	アメリカの文化と言語Ⅰ☆*	2								2科目 6単位必修
		情報処理演習Ⅰ☆*	4								
	教養教育科目	社会福祉入門☆□	2								5科目 10単位必修 を含む 8科目 16単位修得
		文章表現☆	2								
法学（憲法）☆*		2									
福祉と教育		2									
心理学概論□		2									
人体の構造と機能及び疾病□		2									
社会学概論□		2									
教養基礎演習Ⅰ	2										
教育科目	キャリア開発	保育キャリア基礎演習☆	2	保育キャリア応用演習☆	4	保育キャリア展開演習☆	4	保育キャリア実践演習☆	4	4科目14単位 必修を含む 6科目20単位 修得	
					社会福祉士養成演習Ⅰ□	2	社会福祉士養成演習Ⅱ□	4			
小計		30 単位		6 単位		6 単位		8 単位		50単位	
専門教育科目	専門基礎科目	児童・家庭福祉論□☆※	2	社会福祉☆	2					4科目 8単位必修	
		教育学概論☆△▽	2	教育心理学△▽	2						
	（児童の理解と発達支援） 専門科目Ⅰ	保育者論☆△	2	保育原理☆	2	子ども家庭支援論☆	2				14科目 28単位必修
		保育の心理学☆	2	社会的養護Ⅰ☆	2	子ども家庭支援の心理学☆	2				
				保育の心理学Ⅱ☆	2	子どもの食と栄養☆○	2				
				子どもの保健☆	2	児童・家庭福祉論Ⅱ☆	2				
				子どもの保健と安全☆	2	臨床心理学☆○	2				
				乳児保育Ⅰ☆	2						
				障害児療育☆▲▼	2						
	（保育の内容・方法） 専門科目Ⅱ	保育内容（表現）☆△	2	社会的養護Ⅱ☆	2	保育内容（人間関係）☆△	2	保育児童専門演習☆	2	14科目28単位 必修を含む 19科目 38単位修得	
		保育内容（健康）☆△	2	保育内容（言葉）☆△	2	保育内容（環境）☆△	2				
		図画工作Ⅰ☆▽	2	保育内容総論☆△	2						
		音楽実践演習	2	音楽実践演習Ⅱ	2						
		子どもと音楽☆△	2	子どもと健康☆△	2						
				子どもと造形☆△	2						
				幼児理解☆△	2	保育カリキュラム論☆△	2	保育内容総論Ⅱ☆△	2		
専門展開科目			保育実習指導Ⅰ☆	2	保育実習Ⅰ（施設）☆	2	保育実習指導Ⅱ☆ 注3)	2	保育士 6科目12単位修得 （☆印） 合計 16単位修得		
			保育実習Ⅰ（保育所）☆	2	社会保障論□	4	保育実習Ⅱ（保育所）☆注3)	2			
							保育実践演習☆	2			
社会福祉学科科目	社会福祉士	高齢者福祉論□	2	社会福祉原論□	4	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ□	4	社会福祉運営管理論□	2	23科目 58単位 修得	
				ソーシャルワークの基盤と専門職□	2	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ□	4	更生保護□	2		
				ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）□	2	公的扶助論□	2	ソーシャルワーク演習Ⅳ□	2		
				障害者福祉論□	2	権利擁護と成年後見□	2	ソーシャルワーク演習Ⅴ□	2		
				ソーシャルワーク演習Ⅰ□	2	地域福祉論※□	4	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ□	2		
				ソーシャルワーク演習Ⅱ□	2	ソーシャルワーク演習Ⅲ□	2	ソーシャルワーク実習□	6		
				保健医療□	2	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ□	2				
						ソーシャルワーク実習指導Ⅱ□	2				
						社会調査法□	2				
修得単位		50 単位		58 単位		56 単位		34 単位		198単位	

注1) 単位数を□で囲まれた科目は、指定された年次に履修すること。

注2) **ゴシック体**で記載された科目は、必修科目。☆（保育士資格 ☆必修）、□（社会福祉士受験資格 必修）、*（教職課程共通 *必修 ※選択）、△（幼稚園教諭 △必修 ▲選択）、▽（小学校教諭 ▽必修 ▼選択）、●（特別支援学校教諭 必修）、○（養護教諭教諭 ○必修 ◎選択）、◆（社会教育主事資格 ◆必修 ※◎選択）、の印が付けられた科目は、資格・免許状取得に関する科目。詳細は、「Ⅶ 資格取得の方法について」を参照すること。

注3) 保育士資格取得のためには、保育実習Ⅱ・Ⅲのいずれか、ならびに保育実習指導Ⅱ・Ⅲのいずれかを選択必修のこと。

注4) 社会福祉士の国家試験を受験する学生は、「社会福祉士養成演習Ⅰ・Ⅱ」を必ず履修すること。

9. ≪保育児童学科≫【子ども発達心理コース】（保育士資格モデル）

区分	1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	備考
総合教育科目	基礎教育 科目 保育児童学概論 人権教育 ▲▼	2 2	保育児童基礎演習☆	2					3科目 6単位必修
	健康教育 科目 健康・スポーツ☆*	2							1科目 2単位必修
	コミュニケーション 科目 アメリカの文化と言語Ⅰ☆* 情報処理演習Ⅰ☆*	2 4							2科目 6単位必修
	教養教育科目 社会福祉入門☆□ 文章表現☆ 法学（憲法）☆* 福祉と教育 心理学概論□ 教養基礎演習Ⅰ	2 2 2 2 2 2							5科目10単位 必修を含む6科目 12単位修得
	キャリア開発 科目 保育キャリア基礎演習☆	2	保育キャリア応用演習☆	4	保育キャリア展開演習☆	4	保育キャリア実践演習☆	4	4科目 14単位必修
小計	26 単位		6 単位		4 単位		4 単位		40単位
専門教育科目	専門基礎 科目 児童・家庭福祉論□☆※ 教育学概論☆△▽	2 2	社会福祉☆ 教育心理学△▽	2 2					4科目 8単位必修
	専門科目Ⅰ 保育者論☆△ 保育の心理学☆	2 2	保育原理☆ 社会的養護Ⅰ☆ 保育の心理学Ⅱ☆ 子どもの保健☆ 子どもの健康と安全☆ 乳児保育Ⅰ☆ 障害児療育☆▲▼	2 2 2 2 2 2 2	子ども家庭支援論☆ 子ども家庭支援の心理学☆ 子どもの食と栄養☆○ 児童・家庭福祉論Ⅱ☆ 臨床心理学☆○	2 2 2 2 2			14科目 28単位必修
	専門科目Ⅱ 保育内容（表現）☆△ 保育内容（健康）☆△ 図画工作Ⅰ☆▽ 音楽実践演習 子どもと音楽☆△	2 2 2 2 2	社会的養護Ⅱ☆ 保育内容（言葉）☆△ 保育内容総論☆△ 音楽実践演習Ⅱ 子どもと健康☆△ 子どもと造形☆△	2 2 2 2 2 2	保育内容（人間関係）☆△ 保育内容（環境）☆△ 保育内容総論Ⅱ☆△ 保育カリキュラム論☆△ 子育て支援☆ 乳児保育Ⅱ☆ 家族心理学 障害児・者の心理 発達相談	2 2 2 2 2 2 2 2	保育児童専門演習☆ 保育内容総論Ⅱ☆△	2 2	14科目28単位 必修を含む 22科目 44単位修得
	専門展開科目 保育実習指導Ⅰ☆ 保育実習Ⅰ（保育所）☆		2 2	保育実習Ⅰ（施設）☆ 保育実習Ⅱ（保育所）☆注3 保育実践演習☆	2 2 2				6科目 12単位修得
修得単位	44 単位		42 単位		32 単位		14 単位		132単位

注1) 単位数を□で囲まれた科目は、指定された年次に履修すること。

注2) **ゴシック体**で記載された科目は、必修科目。☆（保育士資格 ☆必修）、□（社会福祉士受験資格 必修）、*（教職課程共通 ☆必修 ※選択）、△（幼稚園教諭 △必修 ▲選択）、▽（小学校教諭 ▽必修 ▼選択）、●（特別支援学校教諭 必修）、○（養護教諭教諭 ○必修 ◎選択）、◆（社会教育主事資格 ◆必修 ※選択）、の印が付けられた科目は、資格・免許状取得に関する科目。詳細は、「Ⅶ. 資格取得の方法について」を参照すること。

注3) 保育士資格取得のためには、保育実習Ⅱ・Ⅲのいずれか、ならびに保育実習指導Ⅱ・Ⅲのいずれかを選択必修のこと。

10. <<保育児童学科>>【芸術福祉コース】

区分		1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	備考		
総合教育科目	基礎教育 科目	保育児童学概論 人権教育▲▼	2 2	保育児童基礎演習☆	2					3科目 6単位必修		
	健康教育 科目	健康・スポーツ☆＊	2							1科目 2単位必修		
	コミュニケーション 科目	アメリカの文化と言語Ⅰ☆☆	2							2科目6単位 必修		
		情報処理演習Ⅰ☆☆	4							外国人留学生 のみ		
		\$日本の文化と言語Ⅰ＆ \$日本の文化と言語Ⅱ＆	2 2									
	教養教育科目	社会福祉入門☆□ 文章表現☆ 法学（憲法）☆☆ 福祉と教育 教養基礎演習Ⅰ	2 2 2 2 2							5科目10単位 必修を含む 7科目18単位 修得		
文章表現Ⅱ＆			4	文章表現Ⅲ＆		4						
発 展 教 育 科 目	キャリア開 発教育科目	教養基礎演習Ⅱ	2	教養基礎演習Ⅲ	4	キャリア開発演習Ⅰ（教養）	4	キャリア開発演習Ⅱ（教養）	4	4科目 14単位必修		
小計		28 単位		10 単位		8 単位		4 単位		48単位		
専門教育科目	専門基礎 科目	児童・家庭福祉論□☆☆※ 教育学概論☆△▽	2 2	社会福祉☆ 教育心理学△▽	2 2					4科目 8単位必修		
	専門科目Ⅰ	保育者論☆△ 保育の心理学☆	2 2	保育原理☆ 社会的養護Ⅰ☆ 保育の心理学Ⅱ☆ 子どもの保健☆ 子どもの健康と安全☆ 乳児保育Ⅰ☆ 障害児療育☆▲▼	2 2 2 2 2 2 2	子ども家庭支援論☆ 子ども家庭支援の心理学☆ 子どもの食と栄養☆○ 児童・家庭福祉論Ⅱ☆ 臨床心理学☆○	2 2 2 2 2			14科目 28単位必修		
		専門科目Ⅱ	保育内容（表現）☆△ 保育内容（健康）☆△ 図画工作Ⅰ☆▽ 音楽実践演習 子どもと音楽☆△	2 2 2 2 2	社会的養護Ⅱ☆ 保育内容（言葉）☆△ 保育内容総論☆△ 音楽実践演習Ⅱ 子どもと健康☆△ 子どもと造形☆△	2 2 2 2 2 2	保育内容（人間関係）☆△ 保育内容（環境）☆△	2 2	保育児童専門演習☆		2	14科目28単位 必修を含む 19科目38単位 修得
			音楽★▽ 図画工作Ⅱ★▼	2 2	音楽Ⅱ★▼ 音楽Ⅲ★	2 2	音楽Ⅲ★	2	保育実践演習☆		2	
			造形芸術Ⅰ 音楽芸術Ⅰ	2 2	造形芸術Ⅱ 音楽芸術Ⅱ	2 2					4科目 8単位修得	
	専門展開 科目											
修得単位			52 単位		48 単位		24 単位		8 単位		132単位	

注1) 単位数を□で囲まれた科目は、指定された年次に履修すること。
 注2) **ゴシック体**で記載された科目は、必修科目。
 注3) 「日本の文化と言語Ⅰ」「日本の文化と言語Ⅱ」は外国人留学生のみ履修。
 注4) & 外国人留学生は履修することが望ましい。